

6 土台と柱の腐朽対策

木材は含水率が一定の値を超えると腐ったり、蟻害を受けやすくなります。劣化した木材は地震力に抵抗する強度がほとんど失われるので、建物の耐震性を確保するには柱や土台の腐朽対策や外壁等の雨仕舞対策が重要です。

①床下の防湿対策と土台等の防腐処理

床下は換気を十分にとり、床下には防湿シート又は防湿コンクリートを設ける。地盤面から高さ1m以内にある土台及び柱材等には防腐・防蟻処理を施す。

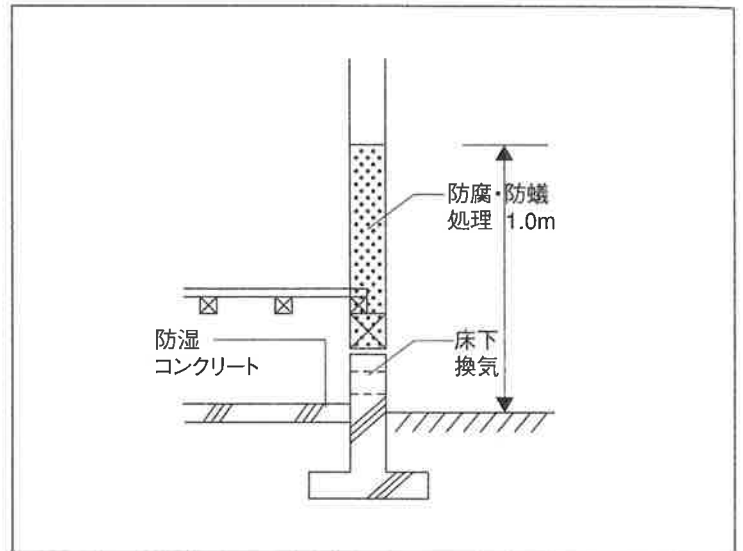


図-9 防腐処理を行う部位

②雨仕舞対策

外壁の入隅部、開口部まわり、バルコニーの付け根などの雨仕舞には特に注意が必要です。外壁のひび割れ等は速やかに補修する必要があります。

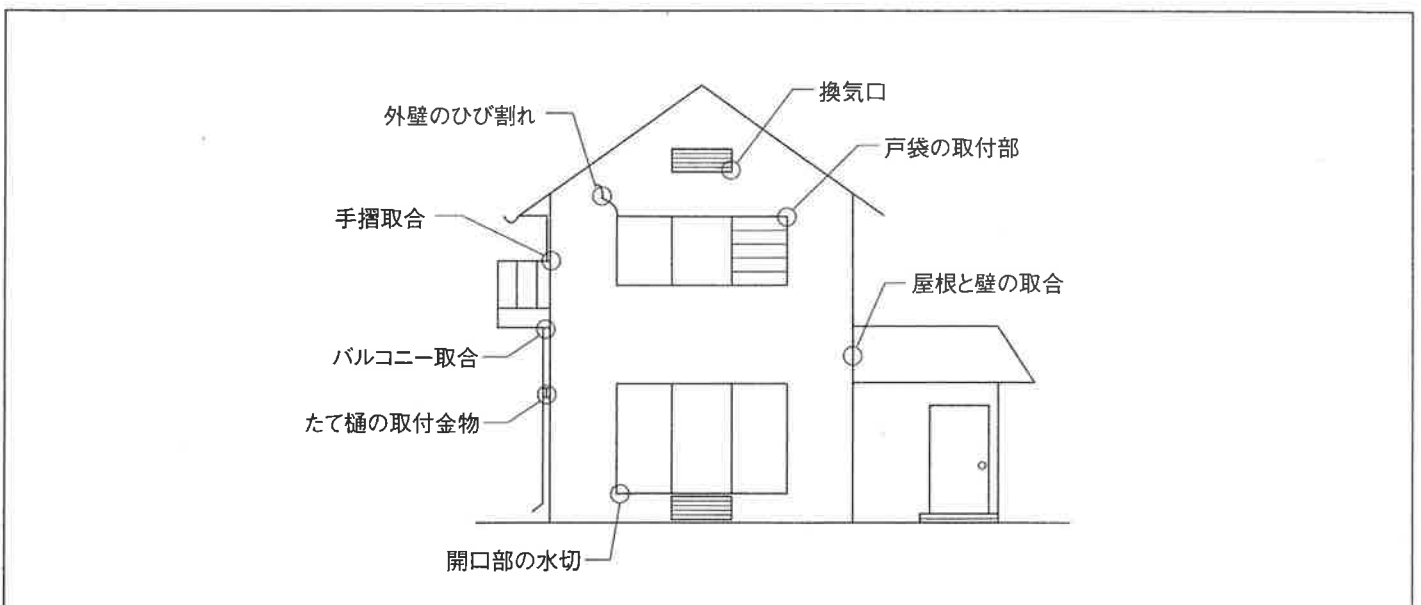


図-10 雨仕舞対策が重要な部位